



既存の自律ロボットに、HATS Edgeを組み込みます (プログラムまたはハードウェア)

ロボットやオペレータの状態/情報を一元的に管理します

簡単な操作で、1人のオペレータが複数のロボットの状態の確認、及び操作を行えます

# HATS (高度自律型遠隔制御システム) を開発 人とAIが共助する社会へ

キビテク

キビテク (品川区西五反田、代表取締役・林摩梨花/吉海智晃、03・5213・4751、<https://qibitech.com/>) は、人型ロボットを基盤とした知能ロボットの受託開発を行っている。

近年、物流や販売店などさまざまな業種・現場でAIを搭載した自律型ロボットが活躍し始めているが、AIにも限界があり、すべて臨機応変に対応できるとは限らない。そこで、同社では、現在HATS (高度自律

型遠隔制御システム) を開発している。

このシステムは、既存のAIロボットにHATS\_Edgeを組み込み、オペレータが臨機応変に遠隔操作を行うことで、想定外の状況にも対応できるようアシストする仕組みである。これにより、今までのAIでは限界だったマニュアル外のハプニングもクリアでき、AI自体も学習を重ねて、自身の対応スキルを上げ成長することが可能になる。

「HATSを通じて、さらに高難度の業務にもAI活用が広がれば、人手不足の解消とともにオペレータ業務を途上国に拡充するなど就労の機会を増やせる」と考え、より幸せなデジタル社会の実現に貢献するべく、同社は開発を進めている。